

愛高組新聞

JTU RENTAI

発行所 〒460-0017 名古屋市中区松原二丁目10-3 愛知社会文化センター内

愛知公立高等学校教職員組合

<http://www.ne.jp/asahi/jtu/aikoso2/>

TEL 052-684-4312

FAX 052-684-4314

rentai@aqua.ocn.ne.jp



URL(新)



e-mail



木浦港伯方造船（愛媛県・今治市伯方島）

24年度の愛高組運動の柱

— 第36回定期大会議案から —

長者の賃金制度の再設計

常駐

愛高組執行委員会は、今年度の運動方針を決定し、7月13日の定期大会に提案します。今年度はさらなる議案のスリム化を進め、秋の対県教委交渉で取り上げる内容を中心にとりまとめを行いました。以下に概略を掲載します。

1. ゆとりと希望の高校教育を実現するためのとりくみ

- ① 土曜学習会と日常補習等の廃止
- ② 学級定員を段階的縮減
- ③ 部活動の社会教育への移行に向けての体制を整備

3. 学校評価制度、教員評価制度等の改善をはかるためのとりくみ

- ① 学校評価制度の評価項目の適否の点検
- ② 人事評価制度の五原則・二要件の確立
- ③ 免許更新制に代わる研修記録の簡素化

2. 多忙化の解消と休暇制度の充実を図るためのとりくみ

- ① 働き方改革の進捗状況の調査と検証
- ② 勤務時間管理の徹底と業務削減及び定数改善
- ③ 「部活動指導ガイドライン」の遵守状況の実態調査
- ④ 学校の開錠・施錠時刻の「目安」の見直し
- ⑤ 初任者研修、経年経過研修の内容を精選

4. 賃金改善のとりくみ

- ① 暫定再任用者の賃金水準の引き上げ
- ② 「給特条例」を廃止し、超過勤務手当の支払の実現
- ③ 会計年度任用職員の待遇改善

5. 定年延長・再任用制度の再整備を図るためのとりくみ

- ① 同一労働同一賃金の原則に基づく再任用者、定年延長

6. 教育費の保護者負担の軽減を図るためのとりくみ

- ① 学校運営費の増額
- ② 周年事業の廃止
- ③ 学校徴収金の点検と減額
- ④ 貸与型奨学金の給付型への転換

7. 豊かな学びを保障する

- ① インクルーシブ教育を目指した学校づくり
- ② 学校施設・設備のユニバーサルデザイン化
- ③ 日本語を母語としない生徒への教育支援制度の拡充及び全日制高校での受入れ体制の整備

8. 生徒・教職員の健康・安全を重視した教育環境の整備を図るためのとりくみ

- ① 「部活動指導ガイドライン」の遵守
- ② 在校等時間の記録等をもとにした業務削減
- ③ 健康診断の医療機関での実施
- ④ 健康診断結果の管理者の限定
- ⑤ 校内清掃の業者委託
- ⑥ スクールカウンセラーの

9. 人権・同和教育の推進と差別撤廃を図るためのとりくみ

- ① 人権・同和教育の現状点検と、推進
- ② 多様な性に配慮した制服のあり方の検討及び、学校施設・設備の改善
- ③ ハラスメントの相談窓口の外部設置
- ④ 人権に関する研修機会の拡充

10. 当事者への情報開示と個人情報の保護を図るためのとりくみ

- ① 収集する情報の精選
- ② 指導要録・調査書の記載事項の簡素化

愛高組第36回定期大会

第1号議案

24年度の運動方針と

大会スローガンに関する件

第2号議案

23年度の会計決算に関する件

第3号議案

24年度の会計予算に関する件

7月13日(土)

13時 受付

13時半 開会

16時半 閉会

愛知社会文化センター

教職調整額(4↓10%)の増額で

多忙化は解消されない!

5月13日、中教審「質の高い教師の確保特別部会」は『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について(審議のまとめ)(案)を公表しました。

業務削減はかけ声だけ

「審議のまとめ(案)」では、業務削減について、業務の適正化の推進のため「見える化」とP D C Aサイクルの構築を図るとしてはいますが、学習指導要領の精選等は今後の検討とし、部活動の地域移行に関する課題の

対処には言及していません。

抜本的定数改善は行わず

小学校教科担任制の中学年への拡大、全中学校への生徒指導加配の配置、スタッフ職の拡充に触れていますが、すべての職種・職種で「人が足りない!」というわたしたちの声には応えていません。

給特法は温存

教職調整額の増額、担任手当の新設、新たな等級を創設するとしていますが、財源の目処が不透明です。

実効性ある働き方改革は

教員の長時間労働の是正は、業務を減らすこと、人を増やすことでしか実現できません。学校現場や教職員に努力を求めることではありません。勤務時間意識を麻痺させ、過労死ラインの時間外労働を容認する原因となっている給特法は即刻廃止すべきです。

処遇の改善は

教員に求められる自発性や創造性、専門性は、教育職給料表が適用されているすべての教員において、恒常的かつ標準的・共通的に求められています。人材確保と処遇改善のためには、教育職給料表の水準を引き上げるべきです。

現場の声は

土曜日も授業をしていた頃、週の勤務時間は44時間(?)だったと思いますが、今は38時間45分です。勤務時間は短くなったのに週当たりの授業持ち時間数は変わっていません。勤務時間が減った分に合わせて、持ち時間数も減らすべきだと思いますが、何故そうならないのでしょうか?

部活動は「生徒の自主的な活動」と言いながら、安全のために見守りを求められます。定時に帰れないし、休日も休めません。もっと手当を増やして、やりたい人だけでやって下さい。私はお金よりも休みと教材研究の時間が欲しいです。

朝、「今日は、定時退校日ですから、6時に施錠します。」と教頭さんが言いました。定時って5時じゃないんですか?

「朝の立ち番、いたしません!」「花壇の水遣り、いたしません!」「掃除の見守り、いたしません!」「教員免許の要らない仕事、いたしません!」...言ってみたくらい思っているのは私だけでしょうか?

20秒で読めるルーヴル

39.パテシバ

H.Y.



れ ん ら く

2024年1月1日16時6分に発生した能登半島地震の復旧も徐々にではありますが進んでいます。しかし、元の生活に戻るには相当の年月を要するのではと懸念されます。物理的な被災のみならず、特に、メンタル面に与える影響が心配されます。愛高組は、被災地の一日も早い復興と被災された方々の安心を心より祈念し、災害救援カンパを実施しています。ご協力をお願いします。

◎ これからのおもな運動の日程

- 6/27(木) 部落解放をめざす愛知研修会
- 7/18(木) 日教組第167回中央委員会
- 7/24(水) 人勸期全国統一職場集会&中央行動
- 8/2(金) 母と女性教職員の会全国集会
- 8/3(土) 両性の自立と平等をめざす教育研究会
- 8/24(土) 臨時・非常勤教職員等全国協議会

◎ 愛高組第36回定期大会

日時：7月13日(土) 13:30~16:30
 場所：愛知社会文化センター会議室
 7/13(土) 愛高組第36回定期大会

赤ペン 554

新年度に入る直前、イタリア人天才ピアニスト、マウリツイオ・ポリーニ氏死去のニュースが飛び込んできました。小澤征爾氏逝去が報楽界の巨匠が相次いでこの世を去ったこととなった。

辛口の評論家の中には小澤を評価しない者もいるが、ポリーニを歴代ピアニストの最高峰ランクに位置づけることには誰しも異論はないようである。そのポリーニは弱冠18歳でシヨパンコンクールに優勝した後、直ぐには演奏家活動はせず

8年間も研鑽を積むことに専念した。このことでポリーニは技巧面だけでなく高い芸術性を兼ね備えたヴィルトゥオーゾとして大成することとなったとされる。

新任教員は即戦力として教壇に立つことが求められるが、順調なスタートを切れたとしても決して慢心することなく、常に研鑽に励む心構えを忘れてはならないし、教特法にもそれが記されている。教特法本来の趣旨からも、現在ほとんど認められてなくなっている自宅研修を弾力的に取り扱うことを望みたい。(H)

遺珠点点 84

メールも電話も滅多にやり取りしない友人から電話が入っていた。

着信の名前を見て、いまやベテランの域に入る後期高齢者のこととて、すわ一大事かとの思いが油然而とわきおこった。

着信から一時間経っているけど折り返し電話をかけてみた。すると、

「あり、ごめんね」が最初の台詞だった。

元氣そうである。「たいしたことじゃないけど、聞きたいことがあってね」「ほう、何ごと?」

とりあえず異変が起きたわけではなさそうなので一安心。彼女の「聞きたい(喋りたい)こと」は、こうであった。

この頃、晴れば農作業降れば家の中の片付け、合間に伸び放題の庭木の刈込という具合で疲れがたまっていた。昨日は、朝方息子の弁当作りはしたものの、その後どうにも疲れて、午後になっても夕飯の支度までやる気が出なかった。それで息子に、「何でもいいから買って来て食べてください」とメールをしたのだそう。

すると、息子から「何を買ってください」と電話がかかってきた。

横になって微睡みかけて

いたところで、電話をとったものの、気もうつろで「何でもいいわ」と適当に返した。彼女は、アンタの夕飯の支度はできないから、アンタの好きなもの買ってきて済ませてください、という意図でメールしたものだから、買う物の指示など思ってもみない。



「とたんに、何でもいいではわかんない!」と息子は突っかかってきた。不毛のやりとりの末、「まーいいわ、アンタが食べたいものを買って来て頂戴!」と言って電話を切った。

そこで彼女は言う。「うちの息子は国語力がないワ」

「ふつう、ああいったら、そうか夕飯無いなら何か買って来て食べてくかとなるもんじゃやない? ああどこに、私に買ってこいという意味が取れるの?」

私は、「息子くんは、お母さんが調子が悪いから何か食べ物買って帰らねばと付度したんじゃないの?」と、好意的解釈を試みた。

火に油だった。向こうが勝手に解釈して、文句言われて、落ち着いて昼寝もできんと友人は取り敢えず憤懣を吐き出さねば収

まらない。

私はなだめる。「あのね、今時の若い人は、文章を書くのだってパソコン画面、通信はメールの時代だもん、私たちと違う語学圏に属してるのだよ、読解力の次元が違う」

「そうかあ」

「息子くんはね、『何でもいから、買って来て』というところまで一度切つて理解しているんだと思うよ、それから、買って来たものを『食べてください』というふうにな」

今の人のおおかたは、全文本を読み渡して意味を受け取る習慣がない。短く、極端な場合は記号でやり取りする。電子データに表現の基盤を置いた生活をしていると、表現語彙の省略が能力の一つであるかのようだ。

「厄介だねえ、なら、私はどうメールすればいいわけ」

「私は食べないから、アンタは食べたいもの買って来て食べて、とでも書いたら?」

「私、夕飯は食べるよ」

「いや、そういうことは置いておいて、相手にこっちの求める行動をとらせるには、そう言った方が解りやすいから」